



園だより

2023年3月 取手幼稚園

入園してきたときのことをまるで「昨日のことのよう」に思い出し、月日の速さを思います。けれど一人ひとりの成長した姿を見れば確かに「月日」は存在し、それはとても尊い時間だったことを思います。もうすぐ進級・卒園ですね。幼稚園にとって特別大切な3月です。先日、中学生になった卒園生が園を訪ねてきて進路の迷いなどを話してくれました。こんなうれしいことはありません。いつまでもつながっていただける喜びを感じています。帰り際、「良い報告ができるよう頑張ります」と言う卒園生に私が言ったのは「元気ならそれだけでよい知らせだよ」という言葉。時にはうまくいかないこともあるのです。悩んで挫折してそれでも希望を見出せるよう願います。小さな幼稚園では園庭で0歳児から5歳児がいつも一緒に遊ぶ姿がありました。卒園式の日まで残りわずかとなった3月は「良いお別れ」ができるように日々を大切に過ごしていきます。そして巣立っていく子たちにとって幼稚園が「いつでも帰ってこられる場所」になることを願っています。

〈園長小林路津子〉

園主題 『いっしょに生きていく』

年間の主題『ともにつむぎだす ～希望の中で～』

3月のねらい「おおきくなったね」「かみさまありがとう」

〈保育の願い〉

ばらぐみ	① 新しい生活への期待を持ちながら好きな遊びを心行くまで存分に楽しむ ② 少しずつ変化する自然の中で春の訪れを感じる
すみれぐみ	① 一人ひとりが成長を認められ、進級することへ期待感を持ち、身の回りのことを主体的に行う。 ② 春の訪れによる自然の変化に気づき、身近な草花、植物に関心を持つ。
たんぽぽぐみ	① 一人ひとりのらしさを出し合いながら、互いに受け止め合って遊ぶ。 ② 球根の芽や花の匂い、暖かな日差しなど、春の訪れを感じて、喜ぶ。
ももぐみ	① 友達と一緒にいる嬉しさを感じ安心して過ごすと共に、進級に期待を持つ ② 春を感じて気持ちよさや身体を動かす心地よさを味わう
すずらんぐみ	① 春を感じて気持ちよさや身体を動かす心地よさを味わう ② 自分なりに試したり、イメージを膨らませたりしながら、好きな遊びを繰り返し楽しむ
つぼみぐみ	① 生活リズムが安定し、心も身体も満たされて過ごす ② 戸外に出て春を感じ、いろいろなものに触れながら心地よさを味わう

〈3月の予定〉

6日(水)	英語の日(幼児組) ありんこくらぶ	16日(土)	修了証書授与式(卒園式) 年長組1号認定児保育修了
11日(月)	誕生会	18日(月)	春休み・預かり保育 (幼児組1号認定児)
13日(水)	体操の日(幼児組) ありんこくらぶ	20日(水)	春分の日(休園日)
15日(金)	修了式(幼児組)	29日(金)	年長組1号認定児預かり保育 年長組2号認定児保育修了

※小文間公民館まつりに幼児組のお友達の作品が展示されます。

3月10日(日) 10:00~16:00 是非ご覧ください。

〈4月の予定〉

1日(月)	2・3号認定児新年度保育スタート
6日(土)	2024年度入園式(新入園児のみ)
8日(月)	1号認定児新年度保育スタート(始業式)

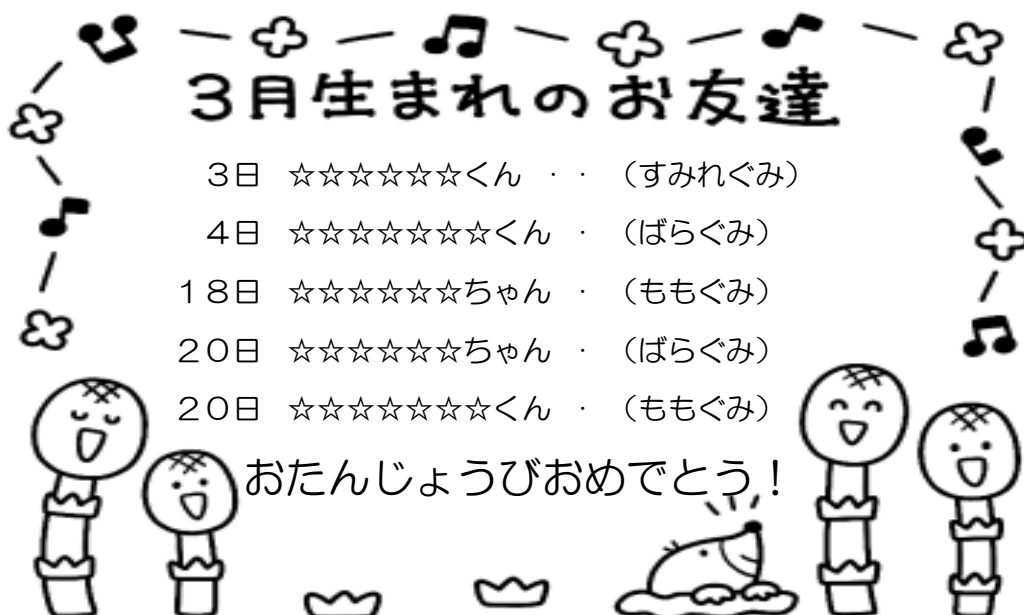
※教職員退職のお知らせ

K. M. ・ I. A. ・ Y. M. ・ S. J. ・ W. M. の5名は、今年度末で退職することになりました。これまでの働きに感謝するとともに、新しい道に神さまの見守りがありますようにと祈ります。

3月の聖句

あなたの神、主はあなたの行うすべてのことを祝福される。

申命記 15章18節



クラスみにみに通信

《ばらぐみ》

相変わらず毎日「おかえりの時間だよ。おかたづけしようね」と言う「えー！やだよ！早い。もうちょっとおねがーい」と言われてしまいます。卒園までの時間を思うとその願いを聞いてあげたくなってしまうのですが、そうもいかず「また明日いっぱい遊ぼ。」と言うしかありません。音楽会で歌った「ビリーブ」は歌詞の意味を皆で読んで、「希望を持つこと」「信じること」を考えました。毎日喧嘩が起こり誰かが泣いて、怒って、叱られて、仲直りして、を繰り返す。とても大切な時間です。残り少ない日々の中、3月も楽しい計画がたくさんあります。給食はばらぐみリクエスト献立の日がありますよ。みんなで何がいいか考えた結果「わかめと豆腐のお味噌汁」（他にもあります）となりました。12人の子どもたちは6つの小学校へ分かれていきます。最後の日々は、「こころは一緒だよ」を伝えて「いいお別れ」をすることの意味を考えていきたいと思います。

《すみれぐみ》

いよいよ今年度も残り一ヶ月となり、進級へのカウントダウンが始まりました。

先日は音楽会にお越しいただきありがとうございました。いつもとは違う雰囲気ドキドキしながらも元気いっぱいの勇気づけられる歌声と、すみれ組らしいパワフルな合奏が響いていましたね。練習では、声を掛け合ったり、お友だちと顔を見合わせたり、互いに教え合う姿も見られました。特に大きな音が出る大太鼓とシンバルのところは、全員リズムを覚えていて、鳴るたびに自然と笑顔がこぼれていました。すみれ組みんなで心をひとつにできた100点満点の音楽会でした！様々な活動の中で笑ったり怒ったり泣いたり、色々な経験と共に心と体も大きく成長した子どもたち。沢山の思い出を振り返りながら、残りの1ヶ月を大切に過ごしていこうと思います。

《たんぽぽぐみ》

音楽会では、自分たちで選んだ曲を、歌い奏でて、楽しむ事が出来ました。一人一人がしっかりと自分のパートを把握し、お友達と協力し合い作り上げました。今でも教室で遊んでいる時に「たんたんたんぽぽさ〜ん」と歌ったり「ドドソソ〜」などと口ずさんだりしています。今回も、皆んなで楽しめた事が、最大の宝だと思いました。

そして、子ども達の成長も沢山あり、特に生活面では、ほぼ全員が、自分のタイミングで、排尿 排便をする様になりました。外遊び等で、服が汚れたりしても、自ら着替えたりもしています。

また、お友達と喧嘩をしても、まずはお互いに話し合い、どうしても解決できない時は、「先生〜」と求めに来る様な感じに変わりつつあります（様子はしっかり把握しています）。

クラス全体もまとまってきた、たんぽぽ組さん。残り一カ月の成長も、しっかり見守って行き、毎日楽しく過ごしたいです。

《ももぐみ》

先日は、まだ2月なのに！？とってしまうくらい暖かく感じましたね。その日子ども

達は思い出したかのように裸足になり泥遊びを始めました。久し振りの水や泥、砂の感触の面白さを感じ全身で楽しんでいました。別の日には畑のブロッコリーやキャベツの収穫をしました！キャベツはあまりの重さに驚きながらもゆっくりゆっくり給食室へと運んでくれました。虫さんに食べられた穴の空いた外葉はお料理ごっこに使おうと、葉を細かく破いてお皿の中に入れてたり、フライパンに見立てたりして遊ぶ子もいました。面白いですね。また、幼児クラスの音楽会を見せてもらった日は、終わった後で目を輝かせながら楽器を手にし、大太鼓や小太鼓を思いのまま叩いて音を楽しんでいました。来年度はいよいよたんぽぽ組さんです。これからますます楽しいことだらけですね。少し環境が変わりまた今年度とは違った表情が見られると思います。色んな事があっても私たち保育者は温かく見守り、子ども一人ひとりが素直で元気に明るく過ごせるよう願っています。個性が豊かでとても可愛い子ども達との幸せな毎日をありがとうございました。

《すずらんぐみ》

今月から新しいお友達が加わりました！人見知りする子や、「だれ！？」と興味を持って近づく等様々な反応でした。新しいお友達に玩具を持ってきて、「これで遊ぶ？」と渡したり、何してるの？とコミュニケーションをとったり、優しく接する姿を見てとても成長を感じました。最近では戸外へ行こうと靴を履くとき、テラスのベンチに6人で並んで座ります。自然と「いれて」「いいよ」の会話や「ここ座れるよ」「ありがとう」等、子ども同士での会話が本当に増えました。毎日子ども達の会話を聞いていてついつい私も笑ってしまう事が何度もあります！

進級まで残りわずかとなりました。1年前までは単語で話していた子ども達がいつの間にか色々な言葉を吸収して沢山会話をしたり、着替えが1人で出来るようになったり、トイレに興味を持ち始めたりと驚かされる日々でした。私自身も保護者の皆様に支えられ、すずらん組の担任として過ごすことが出来てとても幸せでした。本当にありがとうございました。

《つぼみぐみ》

ほにゃほにゃ泣いてた赤ちゃんが、1人で立ち上がり歩けるようになると「うわあ、歩いてる！！」と歓声を上げて皆が笑顔に包まれます。「えっ？話してる！！」なんて、喃語だった赤ちゃんが言葉を話し始めたら嬉しさを分かち合う保育者達、まるで親戚のようです。子ども達は転んだ友達に、「大丈夫？」「おいでー」と優しい言葉をかけたかと思えば、保育者の膝に座った友達に焼きもちを焼いて膝の取り合いっこしたり、玩具を引っ張りあったり…つぼみ組の世界も0歳児ながら、すでに女子の強さも見え隠れして、年長さんまでの未来の姿が見えるようで面白いです。来年度はどんな子が入ってきて、雰囲気が変わるのか楽しみです。もし、男子が入ったら、取り合いっこになるんじゃないかしら？女子の迫力にタジタジになるのかな？と想像してはにんまりしている担任です。残り僅か。桜の花を見たり、犬猫や、貝塚の近所の方に逢いに行ったり、思い出をたくさん作りましょうね♪

あるいは伏せ字(☆☆☆☆☆☆)とさせていただきます。